

事務局短信

農村社会の急激な変化の中で、十年ぶりの集落調査が行なわれ、その間にどれほどの変化が全国的データとして示されるか、大いに興味のわくところと思います。川本氏が指摘される領土をもつたものとしての集落における動かぬものと、機能的結合としてのまとまりが、どういう契機条件の中で乖離してくるのか、われわれの関心をひくところでしあう。両者がどういう場合にずれるのか、一般的に示されるとすれば貴重な成果となることでしょう。十一月の公表をまちたいと思ふます。

夏休みも近づき調査の計画や準備をすすめておいでと思ふます。面白い話題がありましたら、事務局あて御一報下さい。通信に適宜掲載させていただきます。